

(21) 双葉2丁目自治会

自治会加入率

加入世帯数 376世帯 / 総世帯数 530世帯
加入率 70.9%

自治会の紹介

①活動内容について

双葉2丁目自治会は、双葉2丁目と双葉3丁目の北部地区で構成し、会員の融和と、地域の安全・安心を目指しております。そのために役員を中心に班長等と種々の活動を実施しておりますが、独自の取り組みは下記のとおりです。

①防犯パトロール

毎月の第2金曜日を防犯パトロールの日として、自治会役員・班長・育成部が参加して自治会内を2個班でパトロールを実施している。

②子ども会との交流

子どもと大人と一緒に楽しむ機会として、年末の餅つき大会と老人クラブとの輪投げ大会を催している。

③広報紙の発行

随時の広報活動のほかに平成20年度から広報紙を発行し、季刊ではあるが、2～4頁の「町内だより」を各戸に配布している。

双葉2丁目自治会 町内だより

■主な項目 No.10(11-1)

- P.1 ●双葉二自治会定期総会
●平成22年度班長会議開く
- P.2 ●双葉健寿会、2年連続優勝
●緑さわ会開催
●高齢者自転車安全教室に参加して
●掲示板

2011年(平成23年)5月31日発行

発行 双葉2丁目自治会

平成23年度

双葉二自治会定期総会

議案はすべて原案通り承認

平成23年度双葉2丁目自治会の定期総会は、4月9日、双葉二自治会館で開催されました。会場は大勢の班長が集まり熱気にあふれていました。総会は会則に基づいて、今年度と前年度の班長を代議員として開催され、議長に28A班の前班長岩丸勇さんが選出されて、前年度の事業報告と決算報告および今年度の事業計画と予算が審議されました。



昨年度の事業や決算の報告の、今年度の事業計画・予算などの審議が行われました。

事業報告はおおよそ次のようなものでありました。総務部では会議開催の状況や、新たな取り組みとなった双葉2号・3号児童公園の除草。広報部では「町内だより」の年3回発行。また、体育部では緑が丘体育協会主催の各種大会に参加し、バレーボール大会(簡易・一般の2種目)で

祭での支援など。施設部では防犯灯を1基新設したことなど。等、多くの結果が報告されました。

平成22年度班長会議開く

資源・ゴミ講習会も併せて開催

3月26日午後5時から平成22年度の班長会議が自治会館で行われました。

河内自治会長のあいさつの後、4月9日に開催される平成23年度双葉2丁目自治会総会の案内があり、各班長へ新班長を伴っての総会への参加を呼びかけられました。

その後、宇都宮市役所ごみ減量課の小西さんの講習会がありました。ごみ分別が5種13分別に

決算報告では、収入総額275万3856円と支出総額230万4326円の内訳の説明があり、差引残額44万9530円は今年度に繰り越しとなりました。また、資源物回収事業の収支状況も報告されました。この事業の年度末の剰余金は188万9006円となっております。

これらの決算について、監査報告では適正に処理されていると認められました。しかし、資源物回収事業の

収益金を自治会会計の一般財源に運用していることは検討すべきとの意見が示されました。

なお、今年度の事業計画は前年通りの予定であり、また予算は前年度の決算状況から一部増減はありますが、ほぼ前年度並みの予算で収入支出それぞれ267万円となり、前年度予算よりも7万6000円の減額となりました。

議案はいずれも原案通り承認されました。



資源・ゴミの分別の注意点などの講習会がありました。

変わってから1年が経った時点での、ごみ分別の現状や問題点について説明がありました。

また「プラスチック製容器包装」には汚れているものやプラスチック製商品そのものなどの異物が混入しているそうです。ごみ分別が変わった当初の4月は異物混入率は6%でしたが、11月には14%にもなりました。異物を取り除くために大変手間がかかることも、器械の故障にもつながることです。私たちも各家庭においてちよつと意識すること、もう一度分別の仕方を見直し、きちんと守ってごみの減量に努めていきたいものです。

双葉2丁目自治会 町内だより

■主な項目 No.11(11-2)
 P.1 ●盆踊り 双葉二、優勝 育成部も金賞
 ●親子みこし銀賞 ●輪投げ3位入賞
 P.2~3 ●カメラロボ:盆踊り/親子みこし
 P.4 ●簡易バレーボール双葉二3連覇
 ●バドミントン準優勝 ●敬老会
 ●双葉健寿会が優勝 ●児童公園を清掃

2011年(平成23年)8月10日 発行
 発行 双葉2丁目自治会

第24回 緑が丘ふるさとまつり

盆踊り大会 双葉二優勝 育成部も金賞 親子みこしは今年も銀賞



そろいのハッピーにそろいの鉢巻き、踊り鳴子を響かせ華やかな踊りを見せる双葉二のメンバー。

緑が丘地区の二大イベントの一つ「緑が丘ふるさとまつり」が7月23日に緑が丘小学校で賑やかに開催されました。台風6号の影響で、20日予定のテント設置がふるさとまつり前日に延期されました。ふるさとまつりの当日は連日の猛暑も一休み、涼しく快適な気候に恵まれみんなで盆踊りを楽しむことができました。

今年度は東日本大震災の影響で電力不足による節電などがありませんでした。夕方になりお母さん方で40人になる影響で電力不足による節電になると盆踊りのおはやしに誘われて来たたくさんのお客の中、6時45分から子ども達の盆踊りが始まりました。子どもたちが自然に考えた振り付けが評価され、双葉二の育成会は金賞になりました。

いよいよ大人の部、双葉二自治会はいつものように女性部を中心に育成部の若二連覇を達成しました。

親子みこし銀賞を獲得

待ちに待ったおみこしのお披露目となったこの日の朝、自治会館には元気いっぱい笑顔の子どもたちが集まりました。

親子みこしコンクールでは審査員の前では堂々と入場し、審査員の前では「わっしょい!」と元気の良い掛け声で町内を行く、町の人が元気に双葉二の笑顔がたくさんの笑顔を迎えてくれ、お賽銭や励ましの言葉がたくさんありました。そんな声援を励みに子どもたちは元気におみこしを担いで歩きました。

今年は、先に3丁目と2丁目の一部を回ってから親子みこしコンクールに臨み、そのあと再び残りの町内を練り歩くとにしました。「わっしょい!」と元気の良い掛け声で町内を行くと、町の人が元気に双葉二の笑顔がたくさんの笑顔を迎えてくれ、お賽銭や励ましの言葉がたくさんありました。そんな声援を励みに子どもたちは元気におみこしを担いで歩きました。



輪投げ3位入賞 個人の部では奥山さんが1位



ふるさとまつり・輪投げ大会において、双葉健寿会は参加24チーム中、去年と同位の第3位に入賞しました。

試合は夏日を避けて木陰で行われ、不規則な風にも悩まされて半数のチームが通常の60〜70%の得点でしたが、双葉健寿会は日頃の練習成果をバックにプレーを行い、1位との得点差が僅少の3位と健闘しました。

個人の部では双葉二の奥山隆治さんが1位、相変わらずの強さを発揮しました。

まつりに向けて練習する皆さんの健康を祈ります。

テーマは「東北に元気を!!」

親子創作みこしコンクール



審査員の前ではおみこしを上下に揺さぶるパフォーマンスも加えました。

「はやぶさ
ふたば二号」を
つぎまわー!

おみこしの今年のテーマは「東北に元気を!!」緑が丘地区双葉2丁目からパワーを送ろう。名付けて「はやぶさふたば一号」です。東日本大震災の復興を願い今年開通した東北新幹線「はやぶさ」に沿線の名産品を飾りつけ地域の「絆」を表しました。



頑張りました
おまじ

コンクールではパフォーマンスの表現の方法という点で課題が残ったようですが、6年生の藤岡洋介君が張りのある元気な声でアピール文を読み上げ、審査員に強く訴えることができました。結果は銀賞受賞でした。



元気な声でアピール文を読む藤岡洋介君。



暑い暑い
もうハット
ださ



あだし
のこかう
かう!

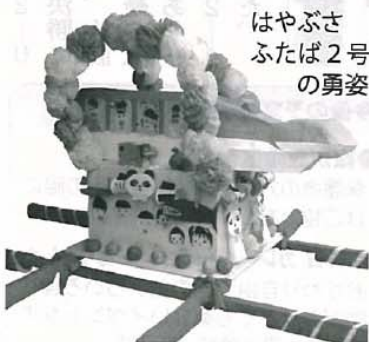


おさい銭も
わあれない
ごね

かわいい
ワンコだね

おみこしはコンクール後元気なかけ声とともに町内を回りました。お手伝いくださったお父さん、お母さん、町内の人たち、そしてがんばった子どもたち、みんなの気持が大きなパワーとなって東北に届いたことでしょう。

◀休憩所で一休み。かわいい犬が子どもたちの人気を集めました。



はやぶさ
ふたば2号
の勇姿

ホクたち わだしたちの コメント

おみこしの部

・久々、朝から参加できて成績も良くて、小学生最後のおみこしは超楽しかったです!

6年 中山 水景

・おみこしの発表は緊張したけれど、みんなにほめられてうれしかったです。発表したとおり新幹線が希望をつないでくれると思います。

6年 藤岡 洋介

・双葉2丁目の知らない人達とおみこしでコミュニケーションがとれ、友達になれてとても良かったです。

5年 打越 紅葉

・銀賞とれてうれしかった。盆踊りは金賞でもつとうれしかった。2年 北畠 幹太

・おみこしが上手にできたので、来年もかわいく作りたいです。1年 池田 英美里

■「新幹線」をテーマにしたところは他にはなかったのでユニークで良かったと思います。発表も上手でした。

河内自治会長
■みんな、おみこしを作るのも担ぐのも頑張ってくれて、とっても良かったと思います。

太田育成部長